



京都部会(第 31 回)

日 時： 2015 年 10 月 23 日(金) 19:00～21:00

場 所： 同志社大学 良心館

参加者：篠原総一(京都学園大学)、下村和平(山城高校)、河原勝彦(久御山中学校)、上畑直久(京都市立栗陵中学校)、西村理(同志社大学)(京都学園大学)【順不同】

【内容要旨】

- (1) 経済教育ネットワークの篠原総一代表者から名古屋部会と東京部会についての報告がなされた。
- (2) 続いて、上畑直久氏から前回の京都部会で報告された「生活設計・マネープランゲーム」の改訂版についての紹介があった。改訂版を作成された経緯は、9月26日の大阪部会で上畑直久氏が「生活設計・マネープランゲーム」を報告され、そのときに部会のメンバーから提起されたコメントに基づいている。改訂された主な内容は以下の通りである。
 - ① 当初 20 歳代からスタートすることになっていたゲームを 30 歳代から始める。そして、20 歳代の生活設計はあらかじめ全員同じ設定にする。
 - ② すべてのカードを裏向けにするのではなく、表向きにしたカードからも選択させるように変更した。というのも、すべての事象が偶然の産物ではなく、自発的に選択するケースも設けるためである。
 - ③ 生活設計で赤字が出た場、教育費、住宅購入、子育てなどの支援によって、安心して生活することができる制度の存在を生徒に気づかせる。

最後に、これらの支援制度の資金的裏付けに税金が使われることを説明することによって、税金の持つ所得の再分配機能を生徒に理解させられるように仕向けたという考えを、上畑直久氏が述べられた。

(文責：西村理)

次回開催予定： 2016 年 1 月 15 日(金) 19:00～21:00 (同志社大学 良心館)

